

Dr岡田の

## 南極物語 第9話 南極の理容事情



越冬隊員は南極昭和基地に1年以上滞在することを以前お話ししましたが、越冬中に髪が伸びた場合、どうしていると思いますか？ 実は昭和基地には理容室が備えられていて、国内で理容の研修をした観測隊員が髪を切ってくれます。越冬中は基地以外の人と交流することがないため、面白おかしい髪型にする隊員が続出します。僕自身はもともと丸坊主頭で南極に入りましたが、1年の間でどこまで髪が伸びるか試してみたところ、写真のようにかなりのロングヘアーになりました。帰国した際、子供たちに「気持ち悪い」と不評であったことは言うまでもありません。



▲殿様カット



▲子供たちに不評だった  
ロングヘアー



▲河童ヘアー

### 『重要なお知らせ』

現在、医療費の口座引落しを承っております。  
従来の振込み、及び手渡しでのお支払いの方で口座引落しをご希望される方は、スタッフまでお申し付けください。



## 医療法人つばさ

### つばさクリニック

診療科目 訪問診療 内科 循環器科  
呼吸器科 整形外科  
診療曜日 月曜日～金曜日  
定期訪問 午前9時～午後5時  
住所 倉敷市大島534-1  
電話番号 086-424-0283

### つばさクリニック岡山

診療科目 訪問診療 内科 小児科  
診療曜日 月曜日～金曜日  
定期訪問 午前9時～午後5時  
住所 岡山市北区奉還町1-7-7  
電話番号 086-254-0283

# つばさ新聞



夏本番となってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。室温や水分補給に気を付けて、良い夏をお過ごしください。

さて、この度当院は、2014年8月1日に岡山市北区奉還町に、小児から高齢者までの患者さまの「家で過ごしたい」という思いを支える、訪問診療に特化した【つばさクリニック岡山】を分院として開院致しました。

今後も、倉敷同様、地域の医療・介護に携われる皆様と密な連携を行い、一人でも多くの患者さまの思いを支えていけるよう、より一層の努力をしてまいります。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。

(医療法人つばさ 理事長 中村 幸伸)

小野Nsの

## ひとことアドバイス

暑い夏が続いていますね！今年は例年よりも台風が多く、気温や気圧の差が大きいです。こうなると心配なのが血圧です。血圧は季節の変わり目に変動することが多いので注意が必要です。ただ血圧は変動するものなので、決まった時間に測定することをおすすめします。いつもより高いな、低いな、と思ったらお気軽に相談してみてくださいね。

# クリニックの日常 ~学習編~

医療の世界は日進月歩と言われています。そのため、医療者は日々患者さまのために最新・最良の医療を学んでおく必要があります。

今回は当院の学習の様子を紹介しします。その取り組みとして、つばさクリニックのスタッフが講師を務める院内勉強会の実施、全国在宅医療テストへの参加、在宅医療に関連する学会への参加などがあります。日々研鑽を積み、より良い医療を提供できるよう、常に前向きに取り組んでいきます。



院内勉強会の様子

新しい医療機器を導入した際にはメーカーの方からレクチャーを受けます

## スタッフ紹介

3月以降、看護師5名、ソーシャルワーカー1名が新たに加わり、スタッフ総勢46名になりました。よろしくお願いいたします。



### 倉敷ホームケアミーティング

「地域に在宅医療を広めたい」という思いで、毎月テーマを変えて医療・介護職の方向けに勉強会を開催しております。ぜひお気軽にご参加ください。

開催日 毎月第3金曜日18:30~19:30  
 対象 医療・介護職の皆様  
 参加費 無料  
 会場 倉敷商工会議所(倉敷市白楽町249-5)

詳しくはつばさクリニックまでお問い合わせ下さい。

**Kurashiki  
Home-care  
Meeting**

# つばさクリニック岡山が8月1日に開院しました。

倉敷で訪問診療に特化したクリニックとして開業、この4月で5年が経過しました。地域で暮らす皆様に少しでも安心して自宅での療養を行っていただきたい、そして地域の医療に貢献したいという理念は開院当初から変わっておりません。

岡山市でも、その思いを大事に在宅療養を希望する方への訪問診療を24時間365日体制で支えていきます。気になる事があれば、いつでもお気軽にご相談ください。



### つばさクリニック岡山 院長 中川ふみ

つばさクリニック岡山では、倉敷と同じように「住み慣れたお家で過ごしたい」という患者さんを、関係される皆さんと支えてまいります。加えて、赤ちゃんやこどもの在宅患者さんをさらに積極的にお受けしたいと考えています。いくつであっても、病气や障がいがあっても、その方らしく穏やかに過ごせる。倉敷・岡山地区がそんな場所になるよう、微力ながら前に進んで行きたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



「つばさクリニック岡山」の院長は、NICU(新生児集中治療室)から療育センターまで幅広く経験を積んだ、小児科出身の中川ふみが就任します。高齢の方はもちろんの事、赤ちゃんやこどもの訪問診療の受け入れも積極的に行います。また、育児不安などへのカウンセリングや、母乳育児支援などを行う子育て相談外来(完全予約制)を設け、親子を支えることが大きな特徴です。



子どもが家で医療的ケアを受ける家族にとって大きな不安な体験が急増したとき、病院に行くことが難しくなると、医療機器をどう使うか、どう使うかの通院も大変だ。その不安や負担を減らすのが医師の訪問診療。倉敷市大島、つばさクリニックの中川ふみ医師36は全国でも数少ないという訪問専門の小児科医として在宅療養を支えている。

### 訪問特化の小児科医

倉敷 体調急変の不安軽減

担当する松村優花さん(11) 倉敷市大島1は3歳の時、麻疹ウイルスに感染し、重症化して肺炎、全脳炎に感染して寝たきり。3年半の入院後、家帰った。入院中も付き添った母親の喜田美さん(48)は「家にいる味のこと考え退院したが、体調がいつ急変するかわからず不安だった。今はいつでも相談でき、日々の暮らしまで余裕ができた」と喜ぶ。

中川医師は「子どもにとって家で過ごす意識は大人以上に大きい。病院と敵しい状態になっていたのが、リラックスし表情豊かになる。穏やかに暮らす助けになりたい」と話している。

▶2014年8月3日山陽新聞  
 つばさクリニックの小児在宅医療の取り組みが紹介されました。

松村さんを訪問する中川院長(右端)

伸院長(右)が訪問に特化したクリニックを開業していることを知った。

「訪問診療があればNICUの子どもも家に帰ります」。昨年からは非常勤医になり週2日診療。今年4月には常勤に転じた。今月開院したつばさクリニック岡山(岡山市北区春道町)の院長も務めている。

現在の小児科の担当患者は12人。月々回復度、定期的に訪問するほか、同僚医師を助力的に24時間体制で電話相談や往診に対応。つばさクリニックは家で最期型と家族が望む入院患者も退院から支援し、これまで5人の子どもを家で亡くした。